

平成27年度公益財団法人栃木県農業振興公社事業報告書

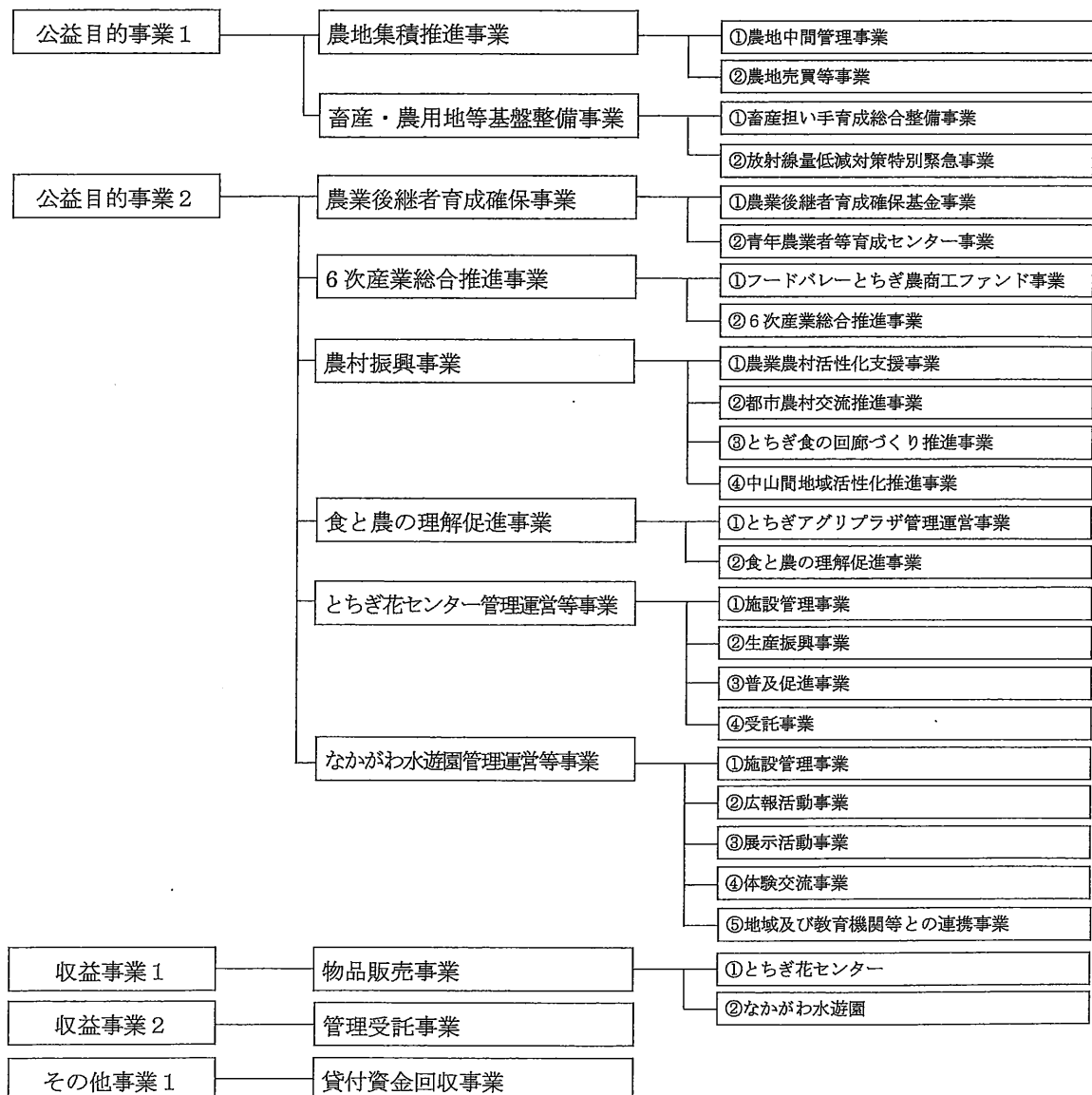
公益財団法人として4年目を迎えた当公社は本県農業の更なる発展と農村地域の活性化を図るため、農業者をはじめ国及び県等の関係機関・団体更には消費者と連携しながら下記の「平成27年度事業体系」に掲げた各種事業を実施した。

農地中間管理事業においては体制の強化を図りつつ、マスコミを使った啓発、普及や手続の効率化等により、担い手への農地の集積・集約化の一層の加速化に取り組んだ。畜産・農用地等基盤整備事業においては畜産農家が経営基盤を確立できるよう推進した。農業後継者育成確保事業では新たな取組である「とちぎでいちごをはじめようプロジェクト事業」はじめ、就農相談会の開催や就農給付金事業の活用により新規就農者の育成確保に取り組んだ。

また、栃木6次産業化サポートセンターとして6次産業化を志向する農業者等の取組を支援した。農村振興事業においては多種、多様な事業により世代間・地域間交流を行い農業・農村の活性化を図った。食と農の理解促進事業では食育出前講座の開催や普及啓発活動を実施した。指定管理施設である「とちぎ花センター」、「栃木県なかがわ水遊園」においては地域資源を活用した企画展を開催するなど地域活性化拠点施設となるよう魅力ある運営に努めた。

これらの事業の推進に当たっては、公社に蓄積されたノウハウやネットワーク機能などの強みを生かし公益法人として、事業の適正化、公益性を確保しつつ、円滑に事業を実施した。

平成27年度事業体系



I 農地集積推進事業

農用地等の利用の効率化及び高度化を促進するため、県、市町、農業委員会及び農地利用集積円滑化団体等との連携の下に、社会・経済情勢の変化や農用地移動の動向等に即しつつ、農地中間管理機構としての体制整備を図りながら、農地中間管理事業及び農地売買等事業を実施した。

1 農地中間管理事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

農地中間管理機構として農地を借受け、担い手に集約して貸付ける事業及び担い手に貸し付けるまでの農地を管理する事業を実施し、担い手への農地集積及び集約化を図った。

(1) 農地の貸借

ア 借 入

事業名	面積 (ha)		備考
	平成 27 年度	累計 (H26～)	
農地中間管理事業 (農地中間管理権設定)	1,466	1,976	

※公告ベース

イ 貸 付

事業名	面積 (ha)		備考
	平成 27 年度	累計 (H26～)	
農地中間管理事業 (農用地利用配分計画)	1,274	1,673	

※公告ベース

(2) 推進内容

項目	事業内容
① 取組み支援	集落営農組織の法人化による集積・集約化の取組や個別担い手による集積・集約化の取組を支援した。 取組み実績 23 地域
② 業務委託の実施	各市町・各市町農地利用集積円滑化団体・各農業協同組合に相談窓口を設置し、借受け・貸付け条件の確認・手続き等の業務委託を実施し、市町等関係機関との連携を図った。 相談窓口 70 団体 業務委託数 51 団体 (申合せ含)

③ 借受希望者の公募	農地の受け手となる担い手（借受希望者）の公募を実施し公表した。 年4回（6月・9月・11月・2月） 借受希望者数 2,061名 借受希望面積 5,797ha
④ 事業の啓発・普及	① 事業の周知を図るため各市町キャラバンを実施し、関係機関団体への啓発・普及を図った。 ② 新聞広告、ラジオCM、リーフレット等の広報活動により、農業者等への周知、理解促進を図った。 新聞広告 1回（下野新聞） ラジオCM 248回（栃木放送） リーフレット 約20万部

2 農地利用集積連携事業（公1・1 農地利用集積に関する事業）

農地集積の円滑な推進のため、会議を開催し、関係機関団体と農地中間管理機構との連携強化を図った。

会 議	開催日	場 所	内 容
第1回 中間管理事業推進会議	H27. 6. 3	宇都宮市	①農地中間管理事業の推進状況について ②事業推進上の課題及び対応について ③平成27年度の推進方針について 外
第2回 中間管理事業推進会議	H27.10. 6	宇都宮市	①農地中間管理事業の推進状況について ②契約書類作成システムについて ③農地整備事業との連携について ④事業推進上の課題・質問等について 外
第3回 中間管理事業推進会議	H28. 1.27	宇都宮市	①農地中間管理事業の推進状況について ②制度運用の改善について ③事業推進上の課題及び対応について ④農地中間管理事業関連事業について 外
第4回 中間管理事業推進会議	H28. 3. 9	宇都宮市	①平成27年度農地中間管理事業の推進状況について ②機構集積協力金交付事業の取扱いについて ③平成28年度農地中間管理事業推進方針について ④人・農地プランの見直し等について 外

3 農地売買等事業 (公1・1 農地利用集積に関する事業)

規模縮小を志向する農家等から農地を買い入れ、規模拡大を志向する認定農業者等に売り渡す事業を実施し、農地の利用集積を図った。

ア 買 入

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地売買支援事業	183	94.0	512,923	
公社営農地売買支援事業	39	14.1	86,631	
計	222	108.1	599,554	

イ 売 渡

事業名	件数	面積 (ha)	金額 (千円)	備考
農地売買支援事業	155	94.1	546,841	
公社営農地売買支援事業	41	14.9	103,291	
旧農地保有合理化促進事業	1	1.2	2,537	
計	197	110.2	652,669	

Ⅱ 畜産・農用地等基盤整備事業

生産性の高い畜産経営の確立及び牧草地等の放射線低減を図るため、県・市町等の関係機関や農業団体と連携し、生産基盤の整備や環境整備等に関する次の事業を実施した。

【畜産関係基盤整備事業の総括表】

事業名	地区名	事業期間	H 2 7 事業実績			備考
			施工場所	事業参加者	H27 事業費 (千円)	
畜産担い手育成 総合整備事業	日光高原	H25～H28	宇都宮市 鹿沼市 日光市	6 名	308,842	
	栃木塩那	H27～H30	さくら市 那須烏山市 那珂川町	6 名	11,708	
	栃木那須	H27	大田原市 那須塩原市 那須町		7,884	
	3 地区		計		328,434	
放射線量低減対 策特別緊急事業		H23～H27	日光市 那須塩原市 那須町	3 市町	6,826	
合計	4 地区		合計		335,260	

1 畜産担い手育成総合整備事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

畜産産地として今後安定的な発展が見込まれる地域において、生産性の高い経営体群の育成と、これを核とした畜産主産地の再編整備を進めることにより、畜産経営の合理的かつ安定的な発展を積極的に推進するため、草地、畜舎、家畜排せつ物処理施設等の整備事業を実施した。

また、大田原市・那須塩原市・那須町において、新規事業採択に向け事業計画書を作成した。

地区名	予算 区分	施工 場所	事業 参加者	事業費(千円)	主 な 事 業 内 容
日光高原	H26 繰越	日光市	2名	78,534	・草地整備 16.67ha ・堆肥舎 1棟
	H27	宇都宮市	1名	40,378	・草地造成 0.19ha ・草地整備 1.97ha ・畜舎 1棟 ・堆肥舎 1棟
		鹿沼市	1名	3,240	・畜舎・堆肥舎設計 1式 ・飼料畑造成設計 1式
		日光市	2名	186,690	・畜舎 2棟 ・フィーダー 1台 ・ローダー 2台
栃木塩那	H27	さくら市	1名	1,900	・畜舎・堆肥舎設計 1式 ・飼料畑造成整備設計 1式
		那須烏山市	3名	6,821	・畜舎・堆肥舎設計 1式 ・飼料畑造成整備設計 1式
		那珂川町	2名	2,987	・畜舎・堆肥舎設計 1式 ・飼料畑造成整備設計 1式
栃木那須	H27	大田原市 那須塩原市 那須町		7,884	・事業計画書作成 1式
合計	H26 繰越		2名	78,534	
	H27		10名	249,900	
	計		12名	328,434	

2 放射線量低減対策特別緊急事業 (公1・2 畜産・農用地等基盤整備事業)

東日本大震災による原子力災害により汚染された公共牧場等の永年牧草吸収抑制対策等及び指定廃棄物一時保管業務の事業を実施し、放射線量の低減を図った。

区 分 (対 象)	施工場所	事業費 (千円)	主な事業内容
環境省事業 (牧草等放射性指定廃棄物)	那須塩原市	2, 2 9 0	指定廃棄物の一時保管工事の 設計・施工監理
農水省事業 (県内公共牧場)	日光市 那須町	4, 5 3 6	永年牧草地の反転耕・深耕等による 吸収抑制対策
合計		6, 8 2 6	

3 管理受託事業 (収2事業)

大笹牧場(日光市)において、原子力災害により影響を受けた牧草地の牧場機能の再生を図るため、施設の適正な管理を行い牧場が持つ多面的機能と畜産振興に係る整備を受託した。

また、川村放牧場(塩谷町)において、9月大雨により被災した牧柵等の復旧に係る整備を受託した。

Ⅲ 農業後継者育成確保事業

次代を担う青年農業者の育成・確保を図るため、県及び関係機関・団体等との連携のもとに、農業後継者育成確保基金事業及び青年農業者等育成センター事業を実施した。

1 農業後継者育成確保基金事業 (公2・1 自主事業)

県・市町・農業団体・農業者等の協力で造成された農業後継者育成基金の運用益により青年農業者の育成等を図るため、次に掲げる事業を実施した。

(1) 国際化サポート事業

就農希望の青少年や青年農業者を対象に、国際化に対応できる経営感覚に優れた農業者の育成を図るため、次の事業を実施した。

ア 農業学生海外研修支援事業

期 日 (期 間)	研 修 先	事 業 内 容
H27.7.5～17 (13日間)	ニュージーランド	栃木県農業学校クラブ連盟主催 「ニュージーランド派遣農業研修」3名助成

イ 海外長期研修支援事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
17ヶ月	アメリカ	小山市 篠原 貴大 下野市 上野 将	海外における農業経営、技術等の研修 (渡航前講習等を含む)

ウ 海外短期派遣研修事業

期 間	研 修 先	参 加 者	事 業 内 容
H27.9.28 ～10.7 (10日間)	オランダ ドイツ フランス	県公社派遣農業青年 14名 役員 2名 計16名	畑作・園芸・畜産の大規模経営視察、有機 農法、自治体研修、アールスメール花市場調査、 後継者との意見交換、クイナガルン視察 他

(2) 担い手チャレンジ支援事業

青年農業者等を対象に、農業及び農家生活等に関する知識、技術の向上を図るため、次の事業を実施した。

ア 経営発展活動支援事業

実 施 者	事 業 内 容
宇都宮市 監物 瑛	・白紋羽病温水点滴処理の運用技術の確立および施用効果の検討
栃木市 寺内 崇浩	・いちごの赤色LEDを活用した電照による生育促進と経費節減

(3) 組織活動サポート事業

青年農業者の仲間づくりや自己研鑽を図るため、自主的な組織活動を支援した。

ア 組織活動支援事業

実 施 団 体	事 業 内 容
栃木県青少年クラブ協議会	集団活動の促進、仲間づくり活動の活性化、青年農業者の資質向上

イ 青年農業者地域貢献支援事業

実 施 団 体	事 業 内 容
上三川町農村青少年クラブ協議会 外 7 組織	未利用地を活用したひまわり栽培と花配布を通じた地域農業の理解促進活動、外 7 組織による地域貢献事業

ウ 全国技術交流派遣事業

期 日	場 所	参 加 者	事 業 内 容
H27. 7. 30 ～ 31	埼玉県 (大宮ソニックシティ)	青年農業者 24名 農業振興公社 2名 計 26名	平成27年度関東ブロック農村青少年クラブプロジェクト実績発表会及び交流イベント等に参加。
H28. 3. 8 ～ 9	東京都 (国立サントリー記念 青少年総合センター)	青年農業者 5名 農業振興公社 1名 計 6名	第55回全国青年農業者会議への参加による県外青年農業者との交流(プロジェクト外活動発表・交流会他)

(4) いきいき農業・農村情報発信事業

青年農業者が自信と誇りを持って農業に取り組むことができるよう、青年農業者が行う農業・農村の理解促進のための活動を支援した。

ア 青年農業者と消費者の交流促進事業

期 日	場 所	実 施 団 体	事 業 内 容
H27. 10. 18	壬生町 (みぶハイウェイパーク)	栃木県青少年クラブ協議会	フレッシュファーマーズマルシェ 2015 (来場者：5,165名)

2 青年農業者等育成センター事業 (公2・1自主事業)

農業従事者の減少・高齢化が進行している中、次代の本県農業を担う新規就農者の確保が急務となっている。この様な課題を解決するため、新規就農希望者に対し就農促進啓発や就農相談活動等を実施した。

(1) 就農支援事業

本県農業の担い手となる幅広い就農希望者を対象に、就農促進啓発や就農相談会等を実施するとともに、就農支援情報(農地情報等)の収集、蓄積、情報提供を行い、就農促進を図った。

ア 就農促進啓発事業

① 就農相談活動等

期 日	事 業 内 容
H 2 7 . 4 ~ H 2 8 . 3	新規参入希望者等に対する就農相談活動、就農に関する情報収集・提供 相談件数 1 3 7 件
H 2 7 . 5 . 3 1 7 . 2 6 9 . 2 7 1 1 . 2 9 H 2 8 . 1 . 3 1	新規就農相談会 in とちぎ（宇都宮市）の開催（開催回数 5 回） 相談件数 6 6 件
H 2 7 . 1 1 . 7	新規就農相談会 in 品川（ハローワーク品川）の開催 相談件数 5 件
H 2 7 . 7 . 1 1 1 0 . 3 1 0 . 2 4 1 2 . 1 2 H 2 8 . 2 . 1 3	新・農業人フェア（東京都・北海道）での就農相談ブースの出展 出展回数 5 回 相談件数 1 8 5 件
H 2 7 . 9 . 1 3	ふるさと回帰フェア（東京都） 相談件数 5 件
H 2 7 . 8 . 2 7	新規参入フォーラム in とちぎ 2015（宇都宮）の開催 参加人数 8 1 人
H 2 7 . 1 2 . 5	新規参入現地セミナー in とちぎ 2015（県内）の開催 参加人数 2 6 人
計	就農相談件数 3 9 8 件（対前年比 1 3 8 %）

② 就農促進啓発活動

事 業 項 目	事 業 内 容
就農啓発促進資料の 作成・配布	・「とちぎで農業はじめよう」がっくんの作成・配布による就農啓発（作成部数 1,000 部） ・新規参入事例集の作成、配布による就農啓発（作成部数 2,000 部） ・ホームページ作成、更新による就農啓発（12 回更新）
新規参入・就農支援 活動の広報・PR	・新聞広告掲載による就農啓発（掲載回数 6 回） ・就農相談会開催チラシの作成・配布

イ 就農サポート事業

事 業 項 目	事 業 内 容
就農情報バンク	就農支援情報の整備件数 4 4 件（うち、H 2 7 新規情報 2 件）

(2) 青年就農給付金事業（準備型）

青年の就農意欲の喚起を図るため、就農前の研修期間（２年以内）に就農給付金（年間１５０万円）を給付し、円滑な就農を促進した。

募集期間	事業内容
第１回募集 H27.5.8～22	第１回目の給付件数：１５件
第２回募集 H27.7.24 ～8.7	第２回目の給付件数：１０件
第３回募集 H27.10.16 ～30	第３回目の給付件数：６件
第４回募集 H27.12.24 ～H28.1.13	第４回目の給付件数：１０件
	平成27年度給付件数：41件、平成26年度継続給付件数：24件 ＊計65件

(3) とちぎでいちごを始めようプロジェクト事業（キャンペーン事業）

本県の新たないちご生産者を確保するため、県内・外から幅広くいちご就農希望者を呼び込むとともに、就農啓発や就農相談活動・情報発信等を通して、就農・定着促進を図った。

期 日	事業内容
H27. 7. 11 10. 3	新・農業人フェア（東京都）での就農相談ブースの出展 出展回数 2回 相談件数55件
H27. 8. 30	いちご王国とちぎ・新農業人フェア（東京都）相談ブースの出展 相談件数15件
H27. 11. 1 11. 15	とちぎの農業法人現地見学ツアー開催での就業希望者対応 ・県南コース 参加人数 16名 ・県北コース 参加人数 11名

Ⅳ 6次産業総合推進事業

農業者が農業・農村に存在する豊かな「地域資源」を活用し、農業者による生産・加工・販売の一体化による6次産業（1次産業×2次産業×3次産業）の創出と、農商工連携による地域ビジネスの創出を促し、農業・農村の活性化を図る取組を支援した。

1 フードバレーとちぎ農商工ファンド事業（公2・1 自主事業）

事業区分	事業内容
1 販路開拓の支援	新商品等の販路拡大の取組を推進するため、商談会等の出展を支援した。 ・アグリフード EXP02015に出展（8月18～19日）、出展者数：2
2 セミナーの開催	農商工連携を推進するため、若手起業者を対象に先進地事例研修会を開催した。 ・開催日：10月9日、参加者：22名

2 6次産業総合推進事業（公2・2 受託事業）

事業区分	事業内容
1 アドバイザーの派遣	6次産業化を目指す農業者を対象に6次産業化実践アドバイザーを派遣し、生産から商品開発、事業化まで一貫した指導を行うとともに、総合化事業計画認定者のフォローアップを行った。 ・アドバイザー派遣延回数：70回、6次産業化総合化事業計画認定件数：6件
2 6次産業化への取組支援	農業経営の多角化や地域の産業連携等を支援する相談窓口（栃木6次産業化サポートセンター）を設置した。 ・設置場所：（公財）栃木県農業振興公社内 ・相談件数：113件、アドバイザー派遣件数：70件 ・推進会議：2回（7月、1月） ・交流会、商談会：1回（1月）参加者 190名
3 6次産業化を実践する人材育成	若手の農業者を対象に新たな農業を創造できる人材を育成するため、「とちぎ6次産業化実践塾」を開講した。 ・6次産業化実践塾：6回（開講日9月18日）、受講者：延べ108名

〈参考〉平成27年度「国の6次産業化総合化事業計画」認定状況

No.	事業申請者	事業内容
1	小林一夫ぶどう園	自家産ぶどうを用いた「こだわりぶどうジュース」の開発・販売
2	（株）和氣ふぁーむ	自社産もち米を用いた「杵つき餅」の製造・販売
3	（株）和みの杜	自社産さつまいもを用いた「焼き干し芋」「冷やし焼芋」の開発・販売
4	島田養蜂園	自家産はちみつを用いた「果物のはちみつ漬け」の開発・販売
5	（有）那須バィオファーム	自社産黒きくらげを用いた「本生きくらげわさびあえ」の開発・販売
6	（有）卵明舎	自社産こだわり卵を用いた「スイーツ&デリカ」の開発・販売

※認定件数：H23年度5件、H24年度10件、H25年度8件、H26年度11件、合計40件

V 農村振興事業

農村地域の活性化を図るため、地域農業振興アドバイザーの派遣を行うとともに、農業・農村の多面的な機能等の理解を図るため、各種コンクールの開催や地域活性化の情報収集・提供を行った。

また、農村地域が持つ自然環境や伝統文化（食・行事等）、多彩な農産物などの豊かな資源を活かしながら、創意と工夫による都市と農村の交流、食の回廊づくり、とちぎ夢大地応援団による中山間地域における農地保全活動等、魅力と元気のある農業・農村づくりを支援した。

1 農業農村活性化支援事業（公2・1 自主事業）

事業区分	事業内容
1 地域活性化の取組支援	地域農業振興アドバイザーを派遣し農村の活性化を図った。 ・派遣数：1件
2 農業農村への理解促進	農業農村児童画コンクール及び美しいとちぎのむら写真コンテストを開催し、優れた作品を各種イベント等で紹介するなど、農業農村への理解促進を図った。 ・児童画コンクール 応募点数 1,258 点 （県内小学校 377 校のうち 165 校参加） 知事賞、教育長賞、農政部長賞授与（各 3 点ずつ） 県庁 15F ロビー展示（10 月、2 月） ・写真コンテスト 応募点数 164 点 （県内 11 の中・高等学校参加） 知事賞（2 点）、農政部長賞（4 点）授与 県庁 15F ロビー展示（10 月、2 月）
3. 情報の収集・提供	農業・農村の活性化のための情報誌、「とちぎ発元気農業」を発行・配布した。 ・発行回数：2 回（8 月、2 月）

2 都市農村交流推進事業（公2・1 自主事業）

事業区分	事業内容
1 指導員の設置	農産物直売所等の都市農村交流施設が消費者から信頼されるとともに、生産者が地域の活動拠点として自立した活動ができるようにするための支援を行う「都市農村交流施設等活性化推進員」を設置した。 ・指導員（常勤）1名
2 指導活動の内容	① 農産物直売所等の調査について集計・分析した。 ② 上記調査結果を基に、施設を選定し、経営・販売等を中心とした指導及び経営改善や集客促進を目的とした助言を実施した。 ③ 都市農村交流施設が抱える共通の課題である「高齢化対策」と「効率的な集出荷体制」の確立に向けた先進事例調査を実施した。

3 とちぎ食の回廊づくり推進事業 (公2・2受託事業)

事業区分	事業内容
1 連絡会、研修会の開催	①県内の10の食の街道間の情報交換や連携事業の実施検討を行うための連絡会を開催した。 ・期日：8月7日、場所：とちぎアグリプラザ、参加者：19名 ・期日：2月3日、場所：コンセーレ、参加者：20名 ②食の回廊の魅力向上及び誘客アップのための研修会を開催した。 ・期日：2月3日、場所：コンセーレ、参加者：23名
2 連携事業の支援	各食の街道の連携によるPRイベント等の活動に対する支援を行った。 ・連携事業：11回、参加街道：延べ36街道

4 中山間地域活性化推進事業 (とちぎ夢大地応援団推進事業) (公2・2 受託事業)

事業区分	事業内容
1 広報活動の実施	①農地の保全活動等のボランティア活動の情報を収集し、ホームページや情報誌等を利用して発信した。 ②情報誌「はばたけ夢大地」の作成、配布 ・情報誌発刊：2回(9月、3月) ③夢大地応援団員の募集 ・27年度末応援団員登録者数：222名
2 ボランティア活動の支援	農地保全活動等のボランティア活動を実施する地区を支援した。 ・新規地区：3地区、自主地区：7地区(参加者431名)
3 夢大地応援団カレッジ活動	次世代を担う学生による、農作業体験を交えた農地や農村景観等の保全活動を通して、農業・農村の必要性や重要性についての理解促進を図った。 ・期日：5月16日、場所：佐野市秋山地区、参加者37名 ・期日：10月3日、場所：栃木市大柿地区、参加者27名 ・期日：11月22日、場所：佐野市中仙波地区、参加者28名

VI 食と農の理解促進事業

多くの県民に対し、食の大切さやその食を支える農の役割を伝えることを目的とし、とちぎアグリプラザを拠点とした食と農に関する各種相談・講座開催・情報提供等を行った。

特に、自主事業である「つなごう！食と農実践講座」（有料講座）では、食と農の理解促進に向けた取組を積極的に行う企業等の協賛を得ながら県民に対し啓発活動を実施した。

また、子どもたちへの食育を推進するため、とちぎ食育応援団を活用した「とちぎっ子食育出前講座」に取り組んだ。

1 とちぎアグリプラザ管理運営事業 (公2・1 自主事業)

事業区分	事業内容
1 管理運営	とちぎアグリプラザ（県民の利用に供する部分）の管理運営を実施した。 ・施設や設備の維持管理（地上3階 延べ床面積1,804.72㎡） ・食と農に関する図書類やとちぎ子どもの食育ライブラリーにある教材の貸出等の管理運営 ・アグリプラザ利用 15,023名（うち、食と農の交流室利用者3,634名）
2 アグリプラザを活用した食と農の理解促進	県民が食と農に対し理解を深めるため、食と農に関する相談及び情報の提供等を行った。 ①イベントにおける食と農の理解促進活動とアグリプラザのPR ・県庁 de 愛ふれあい直売所出展（3月：1回） ・JA全農とちぎパワフルアグリフェア（7月25、26日）出展 ・とちぎアグリプラザまつり開催（11月14日） ②地域、市町等で行うイベントの活動支援（食育応援団の派遣） ③食と農関連教材、パネル等の貸出 ④農業関係機関・団体や消費者グループ等に対する活動支援（アグリプラザの活用）

2 食と農の理解促進事業 (公2・2 受託事業)

(1) 食と農の理解促進プロモーション事業

多くの県民に食と農の理解を加速度的に広げるため、県との連携の下、食や農に関する知識の習得と併せ、講座で得た知識や情報を地域へ伝える「食と農の伝道者」としての人材育成を目的とする各種講座を開催した。

事業区分	事業内容
「つなごう！食と農実践講座」の開催	「生産者の声を消費者に届ける」をテーマに「食」「農」に関する各種講座（「つなごう！食と農実践講座」）を開催した。 開催時期：9～12月、回数：8回、受講者：53名 ・場所：とちぎアグリプラザ 外
その他講座の開催	冬の食育講座「クリスマスケーキにデコたいけん」 ・開催日：12月23日、場所：とちぎアグリプラザ、参加58組

(2) とちぎ食育応援団活用促進事業

事業区分	事業内容
1 応援団員募集、登録、管理等	食育を推進する担い手として活動する「とちぎ食育応援団」団員の募集、登録、管理等を行った。 ・27年度末応援団員登録数：438名
2 情報誌の発行	とちぎ食育応援団の活動と情報交換等を促進するため、「とちぎ食育応援団だより」を発行した。 ・情報誌発行：2回（11月、3月）
3 研修会の開催	とちぎ食育応援団の活動が県民の食育実践に資するよう、そのノウハウを習得する研修会を開催した。 ・開催日：12月18日、場所：とちぎアグリプラザ、参加者：33名
4 とちぎっ子食育出前講座の実施	とちぎ食育応援団の実演・指導により、子どもたちやその保護者等を対象とした食育実践に向けた講座を開催した。 ・回数：35回、指導応援団員数：延76名、講座参加者数：1,649名

3 とちぎアグリプラザまつり開催（公2・1 自主事業）

とちぎアグリプラザに入居する4団体が連携し、一般県民にとちぎアグリプラザの周知と食と農の理解促進を図ることを目的として、とちぎアグリプラザまつりを開催した。

期 日	事業内容
平成27年11月14日	入居4団体の事業紹介、県内農産物等の展示販売、食育・地産地消情報の発信、とちぎの食材を活かした料理の体験等 ・来場者 約1,500名

VII とちぎ花センター管理運営等事業

本県における花の振興と、花とのふれあいによる心豊かな人づくりを目的に、県が栃木市に設置した「とちぎ花センター」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務 (公2・3 指定管理事業)

(1) 施設管理事業

とちぎ花センター施設の維持管理、鑑賞大温室内植物の育成管理、入館料等の徴収事務等の業務を実施した。

管理建物 16棟 6,392 m² (内 鑑賞大温室 2,225 m²)
敷地 花壇等 3.0ha

項 目	平成27年度の実績
入園者数	340,071名 (計画360,000名)
有料入館者数	20,475名 (計画24,300名)

(2) 花の生産振興事業

生産温室では、企画展等での展示品種の栽培・育成を実施した。また、県農業試験場と連携し、県で開発した新品種の展示等を通して、県産花きや生産者等の情報発信を行った。

展示温室では、消費者に関心の高い切花と鉢物を計画的に展示し、県内生産者のPRと品種の紹介を実施した。

(3) 花の普及促進事業

花とのふれあいを通して「癒し」を提供するため、花壇の植栽や企画展、フラワーフェスティバル等のイベントを開催した。また、植物を活用した体験型の花育講座や園芸福祉活動に取り組んだ。

項 目	業 務 内 容
企画展の開催	鑑賞大温室では熱帯・亜熱帯植物及び砂漠地帯の植物の常設展示のほか、第1企画展示室において年間9回、テーマ別展示を実施した。 ① 5/12～6/15 あじさい展 ② 6/17～7/20 世界のヒマワリ展 ③ 7/22～8/30 超おもしろ植物展 ④ 9/5～10/4 危険な植物展 ⑤ 10/6～11/23 世界の木の実展 ⑥ 11/25～12/27 フラワークリスマス展 ⑦ 1/2～2/14 春を告げる花展 ⑧ 2/16～2/28 春のフラワーアレンジ展 ⑨ 3/1～5/8 洋ラン展

花壇の植栽	大花壇では年3回のデザイン花壇の植栽を実施した。また、中小花壇では、季節に応じた多彩な品目を植栽した。 <table><tr><th>期間</th><th>植物</th></tr><tr><td>(10/21)～5/17</td><td>パンジー・ビオラ</td></tr><tr><td>5/25～7/12</td><td>マリーゴールド</td></tr><tr><td>7/20～10/12</td><td>サルビア・アンゲローニア・センニチコウ</td></tr><tr><td>10/19～(5/8)</td><td>パンジー・ビオラ</td></tr></table>	期間	植物	(10/21)～5/17	パンジー・ビオラ	5/25～7/12	マリーゴールド	7/20～10/12	サルビア・アンゲローニア・センニチコウ	10/19～(5/8)	パンジー・ビオラ
期間	植物										
(10/21)～5/17	パンジー・ビオラ										
5/25～7/12	マリーゴールド										
7/20～10/12	サルビア・アンゲローニア・センニチコウ										
10/19～(5/8)	パンジー・ビオラ										
体験教室の開催	花や植物を材料にした体験型の教室を開催した。 ・園芸教室 125回 1,580名参加、										
花育の取組	小学生を対象とした体験講座を開催した。また、夏休み期間、栃木市の小学生をとちはなちゃんドームに招待した。										
とちはなカレッジの開催	花の専門的知識を希望する方を対象に、「ガーデニング講座」「バラ講座」など9コースからなる「とちはなカレッジ」を開講し、地域で花の普及に活躍できる人材を育成した。 ・「とちはなカレッジ」受講者 84名										
イベントの開催	春のフラワーフェスティバルやローズフェスタなど年間8回のイベントを開催した。その中で、開園時間を延長して夜のイベントも開催した。 ① 5/2～6 春のフラワーフェスティバル ② 5/23～6/15 ローズフェスタ ③ 8/14～16 ホラーガーデン～夜の植物園へようこそ～ ④ 10/10～12 秋のフラワーフェスティバル ⑤ 11/7・8 メープルフェスタ ⑥ 12/12・13・19・20 クリスマスファンタジー ⑦ 1/2・3 お正月スペシャル ⑧ 3/19～21 スプリングカーニバル										
園芸福祉活動の取組	75歳以上の方をとちはなちゃんドームに無料招待し、植物による癒しを提供した。また、障害者用のコンテナガーデンへの植栽などに取り組んだ。										
県民ボランティアとの協働	①とちはなちゃんファンクラブであるボランティアを募集し、年3回の大花壇植栽を実施した。 ②バラ講座修了者でボランティア組織「ローズクラブ」を結成し、定期的にセンター内のバラ園の管理に取り組んだ。										
園芸相談	植物の栽培管理等についての相談に随時対応した。										

2 附帯事業（花き類販売等事業）（収1事業）

公社の自主事業として花き販売所の運営を実施した。

VIII なかがわ水遊園管理運営等事業

那珂川の豊かな水と緑に親しみ、水生生物とふれあう場を提供することにより、その沿川地域の自然と文化についての県民の理解を深めるとともに、都市と農村との交流の促進を図ることを目的に、県が大田原市に設置した「栃木県なかがわ水遊園」において、指定管理者の指定に基づく管理運営業務及びこれに関する附帯事業など次に掲げる事業を実施した。

1 指定管理者の指定に基づく管理運営業務 (公2・3 指定管理事業)

(1) 施設管理事業

園内各施設の維持管理、植栽管理等の管理業務を実施した。

項 目	施 設 の 内 容 等
建 物	おもしろ魚館 (愛称：フィッシュパル) 展示ゾーン : 延べ床面積 4,500 m² : 総水量 約 600 t : 水槽数 48 基 体験交流ゾーン : 延べ床面積 1,500 m² おさかな研究室、味わい工房、創作工房等
公 園	面積：約 25 h a 施設：芝生広場、お魚ふれあいステーション、水の広場、公園サービスステーション等
おもしろ魚館 入館者実績	入 館 者 数：278,654 名 (計画 254,000 名) 有料入館者数：187,519 名 (計画 174,100 名)

(2) 広報活動事業

本園の展示企画と季節に合わせたイベント開催の情報を、各メディア、行政・教育機関等に配信し、また、集客場所を活用してのPR活動を積極的に展開し、本園への集客力を高めるとともに、那珂川沿川地域の活性化にも努めた。

項 目	事 業 内 容
広報配布物	ポスター・チラシ・リーフレット・ミニカレンダー・体験講座メニュー等の配布
広報媒体	有料活用：新聞・テレビ・ラジオ・旅行雑誌・野立看板 無料活用：ホームページ・メールマガジン・新聞・テレビ・ラジオ・各種雑誌・市町広報誌・大田原市・那珂川町内回覧板

広報活動	県等自治体主催の行事
	①県庁展示コーナー出展（7月、10月、12月、3月） ②県民の日イベント出展（6月） ③とちぎ“食と農”ふれあいフェア（10月・県主催・宇都宮市） ④天狗王国まつり開催（10月・大田原市主催） ⑤大田原産業文化祭出展（11月・大田原市主催） ⑥フェスタインパルティ出展（11月） ⑦花フェスタ出展（2月） その他 ①AtoZ・FIGHT7プロジェクトキャンペーン（3月～12月） ②企画展PR広報活動（6月、11月、2月） ③その他園外PR活動（通年）

(3) 展示活動事業

那珂川に棲息する水生生物を中心に、日本の淡水魚、世界の淡水魚等の展示、飼育を行うとともに、漁具その他標本を収集し、おもしろ魚館展示ゾーンでの展示業務を実施した。
また、夏、冬及び春の企画展をそれぞれ開催した。

項 目	細 目	事 業 内 容
展示活動事業	展示テーマ 展示生物	「那珂川から世界の川、そしてあこがれの海へ」 那珂川の水生生物、県内の水生生物、日本の希少魚、 熱帯雨林・珊瑚礁の魚等（約 300 種、約 20,000 尾）
展示活動事業	企画展	春：(3/3)～5/10「生き物ものまねグランプリ」 夏：7/11～8/31「妖怪フェスティバル」 冬：11/17～1/27「月下美魚」 春：3/1～(5/8)「観賞魚コレクション」
	特別展示	コバルトブルーのサケ（4/11～4/26） 水色のカエル（5/3～5/31） アジサイコレクション（5/19～6/15） 梅雨の生き物展時「サビトマトガエル」（6/2～6/15） ザリガニグランプリ（7/14～9/13） 土用の丑の日ウナギ展示（7/14～8/10） マミズクラゲ（9/23～9/30） 生き物たちの仮装パーティ（10/6～11/1） コバルトブルーのアユ（10/10～） 紅葉したエビとカニ（11/11～11/29） サケの卵・稚魚（12/1～2/7） 干支（さる）展示（12/26～1/17） バレンタイン関連魚展示（1/30～2/14） アマゾン南米蘭展（1/30～2/28）
その他の事業	バックヤード ツアー	水族館内の仕組みや働き等について来館者に説明した。 （学校等団体3,594名、一般1,177名） 開催：土・日・祝日・夏休み 他

	おもしろ魚教室	解説員による紙芝居、クイズに答えながら水中の生き物について楽しく学べる教室を開催した。(4,997名) 開催：土・日・祝日
その他の事業	水辺環境授業 等学校支援	ミヤコタナゴ生息地の保護活動等(13回)、総合学習の時間(10回)や農地・水保全管理支払交付金の事業支援(9回)など県内小学校や地域の団体等の活動を支援した。
		・ 水中入社式(4/1) ・ 飼育の日「飼育係体験」(4/18,19) ・ ゴールデンウィークイベント(4/29～5/6) ・ ドリームナイトアットザズー(6/6) ・ 県民の日特別イベント(6/13～15) ・ 夏休みイベント(7/11～8/31) ・ ナイトアクアリウム(7/24,7/29,8/8,8/22,11/14) ・ シルバーウィークイベント(9/19～23) ・ ハロウィンカルナバル(10/6～31)ハロウィンナイトビュー(10/31) ・ アクアソーシャルフェス(清掃活動)(10/11,11/8) ・ クリスマスナイトビュー(12/19)、サンタの水中散歩(12/1～23) ・ 正月関連イベント(1/1～1/17) ・ バレンタインイベント(1/30～2/14) ・ 水遊園のひなまつり(1/30～3/6)

(4) 体験交流事業

子どもから大人までを対象に、魚とふれあい、ふるさと体験のできる多彩な講座により、体験交流事業を実施した。

項 目	事 業 内 容	体験者数
おさかな研究室	魚や水生生物等の観察、実験講座 メニュー：水の中の生き物調べ等、メダカの飼い方、魚の飼い方、うろこの観察、ミクロの世界をのぞいてみよう、ザリガニとともにだちになろう等	5,955名
味わい工房	地域の農産物を活用した調理加工講座 メニュー：アマゾン魚料理、ソーセージ、かしわもち、草餅、花巻寿司、田舎まんじゅう	3,759名
創作工房	地域に伝わる伝統工芸等講座 メニュー：竹細工、木工細工、石絵、まゆクラフト、フラワーアレンジメント、和紙工芸、絵手紙等	6,232名
お魚ふれあい ステーション	魚のつかみどり、釣り講座 メニュー：つかみどり、エサ釣り、五目釣り、ザリガニ釣り、ルアー・フライ釣り	釣り池 17,493名 つかみどり 2,574名
体験受講者数合計 36,013名		

その他の事業	・ピラルクーまるごと試食会（9/27） ・写生コンクール作品展（10/6～10/25） ・釣り大会（冬：12/5、春：3/13） ・水遊園思い出写真展示会（2/2～2/21）
--------	--

(5) 地域及び教育機関等との連携事業

なかがわ水遊園事業推進懇談会を核として、地域と連携したイベントの開催、地域が主催するイベントへの参画など、沿川地域の活性化及び都市と農村との交流に寄与できる事業を実施した。なお、博物館相当施設として、水と水生生物との「ふれあい」をはじめとする地域の自然や文化等についての理解促進を図るため、教育機関への情報提供に努めた。

また、学校がキャリア教育として実施している「マイチャレンジ」等の就業体験、大学生による「博物館実習」、教職による「社会体験等研修」を積極的に受け入れることにより、活動の支援を行なった。

項 目	事 業 内 容
地域連携事業	・ナカマルシェ（5/31） ・ストライダーエンジョイカップ大田原市長杯（6/21） ・大田原市 PR イベント（6/20、21） ・那須烏山市 PR イベント（7/4、5） ・那須高原ロングライド（7/12） ・那珂川大感謝祭（9/13） ・那珂川町 PR イベント（9/23） ・なかがわ里山ポタリング（9/23） ・なかがわわくわくワークショップマルシェ（9/23） ・大田原市婚活イベント（10/17） ・さくら市婚活イベント（2/14） ・羽田ミヤコタナゴ再導入事業（年間）
学校のキャリア教育	・中学校：12校 29名 ・高等学校：5校 11名 ・専門学校：4校 6名 ・大学：2校 3名 ・その他教員等：2校 3名 - 計 25校 52名

2 附帯事業（ショップ等事業）（収 1 事業）

栃木県なかがわ水遊園内のミュージアムショップ及び喫茶コーナー等の運営を、公社の自主事業として実施した。「ふくまん」「ピラルクーランチ」など話題性の高いメニューを開発・販売した。また、「鮎魚醬」や「とらふぐ最中」など地元産商品も取り扱った。

事業報告附属明細書

平成27年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。

参考資料 1 主たる会議等

年月日	内 容
平成27年	
4月15日	栃木6次産業化サポートセンターの設置
27日	公社事業説明会（とちぎアグリプラザ）
5月 8日	青年就農給付金（準備型）申請の公募実施（全4回）
～22日	
16日	とちぎ夢大地カレッジ活動（全3回）
31日	新規就農相談会inとちぎ2015（全5回）
6月 2日	監事による監査（とちぎアグリプラザ）
3日	農地中間管理事業推進会議（全4回）
9日	第14回理事会（とちぎアグリプラザ）
17日	第1回栃木県なかがわ水遊園事業推進懇談会（なかがわ水遊園）
24日	農地中間管理事業評価委員会（とちぎアグリプラザ）
25日	第10回評議員会（とちぎアグリプラザ）
26日	第15回理事会（書面決議）
29日	農地中間管理事業借受希望者公募（全4回）
8月20日	第16回理事会（書面決議）
27日	新規参入フォーラムinとちぎ2015（宇都宮市）
30日	いちご王国とちぎ新農業人フェア（東京都）
9月 6日	とちぎ夢大地応援団活動（全10回）
8日	「つながろう！食と農の実践講座」開講（全8回）
10日	第11回評議員会（書面決議）
18日	とちぎ6次産業化実践塾開講（全6回）
9月28日	平成27年度栃木県青年農業者海外派遣研修（オランダ・ドイツ・フランス）
～10月 7日	
10月19日	農地中間管理事業に関する意見交換会（宇都宮市）
11月 7日	新規就農相談会in品川（東京都ハローワーク品川）
14日	とちぎアグリプラザまつり2015開催
12月 5日	新規参入現地セミナーinとちぎ2015（宇都宮市・真岡市）
18日	とちぎ食育応援団活動力アップ研修会
平成28年	
1月 8日	6次産業化実践者研修・交流見本市（宇都宮市）
2月24日	第2回栃木県なかがわ水遊園事業推進懇談会（なかがわ水遊園）
3月12日	指定管理運営に係るとちぎ花センター第三者評価会議（とちぎ花センター）
16日	第17回理事会（とちぎアグリプラザ）
17日	公社営畜産事業現地研修会（東京都）
17日	栃木県なかがわ水遊園外部有識者意見交換会（なかがわ水遊園）
23日	第12回評議員会（とちぎアグリプラザ）
29日	第18回理事会（書面決議）

参考資料 2 評議員・役員・職員等調

1 評議員

区 分	平成 28 年 3 月 31 日現在(名)	平成 27 年 3 月 31 日現在(名)
評 議 員	1 0	1 0

2 役員

区 分		平成 28 年 3 月 31 日現在(名)	平成 27 年 3 月 31 日現在(名)
理 事	常 勤	2	2
	非 常 勤	9	7
	計	1 1	9
監 事		2	2
合 計		1 3	1 1

3 職員

区 分	平成 28 年 3 月 31 日現在(名)			平成 27 年 3 月 31 日現在(名)		
	職員	パート・臨時	計	職員	パート・臨時	計
事 務 局 長	1		1	1		1
総 務 部	5	1	6	5	1	6
農地集積推進部	12	1	13	8	1	9
農 政 対 策 部	8(2)	1	9(2)	9(2)	2	11(2)
事 業 部	8	1	9	8(1)	1	9(1)
とちぎ花センター	14	11	25	14	9	23
栃木県なかがわ水遊園	39	2	41	38	4	42
合 計	87(2)	17	104(2)	83(3)	18	101(3)

(注) () 内は県派遣職員で内数